



自身の身体能力が武器、フルコンタクト格闘技

パラテコンドー

競技概要

テコンドーは「蹴る」ことに特化した韓国の国技で、古くから朝鮮半島に伝わる武術が原形と言われています。

種目は、キョルギ（組手、上肢障がいのある選手にとってのパラ・テコンドーキョルギ）と、プムセ（型、知的障がい選手のためのパラ・テコンドープムセ）の2種目があり、2020東京パラリンピックでは、キョルギ（組手）が正式競技に採用されています。

障がい者スポーツでは、自身の身体能力だけで戦うフルコンタクト競技は少なく、身一つで果敢に攻め込んでいくところがこの競技の魅力です。

クラス	区分内容
K41	・両腕の欠損で、残っている腕の長さが既定の長さよりも短い
K42	・片腕の欠損で、残っている腕の長さが既定の長さよりも短い ・両ひじ関節から上の欠損で、残っている腕の長さが両腕とも既定の長さ以上ある
K43	・両ひじ関節よりも下かつ、両手関節よりも上の両腕欠損
K44	・片腕に機能障がいや麻痺がある ・片手関節より上の欠損で、残っている腕の長さが既定の長さ以上ある

上肢障がいの程度によって4つのクラスに分けられる（キョルギ）

男女別に各3階級

性別	階級		
	男子	-61kg	-75kg
女子	-49kg	-58kg	+58kg

※女子選手は0名

ルール

選手はヘッドギア、ボディープロテクターなどを装着して、かかと落としや後ろまわり蹴りなどの足技で戦いますが、頭部への攻撃は認められていません。

試合は2分3ラウンド制で行い、決まった技に応じて得たポイント数を競います。合計ポイントが多い方の勝利となります。また、ボクシングのようにKO負けとなる場合もあります。

ポイントは胴に蹴りが入ったら1点、そこに回転が加わると3点が入ります。

ヘッドギア



胴プロテクター



1ポイント		3ポイント	
押し蹴り	前まわし蹴り	回転蹴り	後ろ蹴り